

2006年3月28日

株式会社ジャパンエナジー

『JOMO ステーション』新 TV-CM

竹内結子さんをイメージキャラクターに起用

「登場」篇・「ラッキー」篇

—2006年3月30日(木)から全国オンエア—開始—

株式会社ジャパンエナジー（本社：東京都港区虎ノ門二丁目、社長：高萩光紀）は、JOMOステーションのイメージキャラクターに、女優の竹内結子さんを起用し、新TV-CM「登場」篇（15秒／30秒）、「ラッキー」篇（15秒）を、2006年3月30日（木）から全国でオンエア—開始いたします。



写真＝TV-CM「登場」篇（15／30秒）より

ジャパンエナジーは、「エナジーの創造」という基本理念のもと、全国の JOMO ステーションを通じて、ガソリン・軽油といった燃料油の販売などをはじめとする、クルマ関連サービス事業を展開しています。社会や経済を取り巻く環境の変化により、モノの価値や流行は変化してきていますが、ライフスタイルをより豊かで価値があるものにしたいという意識は変わっていません。感謝の気持ちを忘れず、おもてなしの心（＝ホスピタリティ）を持って、快適な空間とくつろぎの時間を提供することで、お客様に安心して来店していただける魅力的な店づくりを目指していきます。

*

■TV-CMについて

◆女優の竹内結子さんをイメージキャラクターに起用◆

この度、JOMO の魅力を訴求するイメージキャラクターに、女優の竹内結子さんを起用しました。

竹内さんは、フジテレビ系列にて放映されたドラマ『新・木曜の怪談「CYBORG」』で女優デビュー。1999 年、NHK連続テレビ小説「あすか」のヒロインを演じてその名を全国区に広めると、以降、「白い影」（TBS）、「ランチの女王」（CX）、映画では、「黄泉がえり」（東宝系）、「いま、会いにゆきます」（東宝系）など、数々の話題作に出演。いまや日本の映画、ドラマ界に欠かせない存在として、確固たる地位を築き上げています。そんな今を時めく竹内さんのメジャー感に加えて、男性のみならず女性にも支持される透明感、やわらかさが、当社の“ホスピタリティ”という概念を訴求するにふさわしい存在であることから、起用が決まりました。

◆親切なお店＝JOMOを訴求する2タイトル◆

新 TV-CM は、海へのドライブ帰りにガソリンがなくなり、JOMO ステーションへ立ち寄る姿を描いた「登場」篇、走行距離メーターや通りがかった遊園地の観覧車の時計、ガソリンメーターの数字が幸運にもすべてゼロ目で揃う「ラッキー」篇の 2 タイトル。それぞれに JOMO ステーションを利用するユーザー側の代表として、竹内さんが登場します。また、CM 音楽には、“いつもと違う街だけれど、親切だもん、今日もやっぱり寄ろうかな、あ！ JOMO だ～♪”、“ガソリンそんなに減ってないけど、親切だもん、今日もやっぱり寄ろうかな～♪”という、JOMO のホスピタリティをイメージしたオリジナルソングを使用。おもてなしの心溢れるお店＝JOMO ステーションを訴求する、印象的な CM に仕上がりました。

■「登場」篇ストーリー

海へドライブしに来た竹内さん。浜辺でハシャいだ直後なのでしょうか、オレンジジュースをストローで飲みながら、足についた砂をはらっています。ストローをくわえたまま、エンジンをかける竹内さん。ズズツという音を立てながら、わずかに残ったオレンジジュースを飲み干そうとしていると、ガソリンメーターの矢印がもうすぐ「EMPTY」になるうとしていることに気が付きました。海岸線を走るクルマ。空になったオレンジジュースのプラスチック容器が、窓の近くで日の光を受けてキラキラ輝いています。続いて、運転中の竹内さんの横顔。その表情から察するに、何か探しモノを見つけた様子。その視線の先をたどると……。

■「ラッキー」篇ストーリー

ドライブ中の竹内さん。走行距離の数字が1並びで揃いそうになります。そして、見事に並んだ1の数字に手を叩いて喜ぶ竹内さん。続いて、たまたま通りかかった遊園地の観覧車の時計も「3:33」、さらには、立ち寄ったガソリンスタンドのメーターも「7.77」と、数字が揃います。そんなラッキーな出来事を車窓からのぞきながら、にっこり微笑む竹内さん。最後に、スタンドを後にするクルマが遠景で描かれます。

■撮影エピソード

◇九十九里の海岸沿いで撮影◇

撮影は2月下旬、千葉県・九十九里町付近の海水浴場で行われました。CM内では、春の青空の中を気持ち良さそうにドライブする竹内さんという設定で描かれていますが、撮影当日は気温も低く、強い海風に加え、時折雨がパラつくあいにくの空模様。クルマの窓やボディに付着したその雨粒が目立たないように、ワントイクごとに拭いて、モニター上でチェックしながらの撮影となりました。

◇リアリティを追求する女優魂に脱帽◇

そんな悪条件の中でも明るく元気にスタッフを気遣い、笑顔で撮影をこなしていた竹内さん。「登場」篇の、足の砂を払う様子をクルマ越しに捉えるシーンでは、画面上に映し出される部分が上半身だけだったにもかかわらず、本番前、履いていたストッキングを自ら「これ脱いだ方がいいですよ」と宣言。あくまでリアリティを追求するそのプロ根性には、スタッフ一同、頭が下がる思いでした。

◇JOMOのホスピタリティを謳うCMソング◇

竹内さんのさまざまな表情が魅力的な今回のCMですが、もうひとつ、忘れてはならないポイントが、バックに流れる心地よい「CM音楽」。JOMOステーションの特徴である“親切な”お店を謳ったこの歌は、CMクリエイターが作詞を手掛け、音楽家によって作曲されたオリジナルソングです。CMソングはJOMOステーションのホスピタリティを訴求するアイテムとして、今回のTV-CM2篇をはじめ、広告やポスターなど、さまざまな場面で活用されていきます。

◇活動的なキャラクターを象徴するクルマ◇

竹内さんがCM内で演じる役柄は、1人でもあちこちドライブに出掛ける、活動的でクルマが大好きな女性。そのキャラクターを象徴するアイテムのひとつが、CMで運転しているクラシカルなセダンタイプのクルマ。春らしさを強調するきれいなブルーのボディが、ドライブを楽しむ竹内さんの清々しい気持ちを見事に表現しています。

■プロフィール

◆竹内結子（たけうち ゆうこ）

生年月日 : 1980年4月1日生

出身地 : 埼玉県

<主な活動>

- TV（ドラマ） CX「不機嫌なジーン」（2005年）
CX「プライド」（2004年）
TBS「笑顔の法則」（2003年）
CX「ランチの女王」（2002年）

- 映画 東宝系「春の雪」（2005年）
東宝系「いま、会いにゆきます」（2004年）
松竹系「天国の本屋～恋火」（2004年）
東宝系「星に願いを。」（2003年）
東宝系「黄泉がえり」（2003年）

- CM 森永製菓
資生堂
西日本旅客鉄道

- 書籍 エッセイ「ニオイふえちい」（2004年）（ぴあ）
エッセイ「ニオイふえちい2 カロリーオフ」（2006年3月29日発売）（ぴあ）

- 受賞歴 第26回エランドール賞新人賞（2002年）
日刊スポーツ・ドラマグランプリ主演女優賞（2003年）
第27回日本アカデミー賞主演女優賞（2004年）
第28回日本アカデミー賞主演女優賞（2005年）
第29回日本アカデミー賞主演女優賞（2006年）

■CM概要

タイトル : 「登場」篇、「ラッキー」篇
オンエアー : 2006年3月30日(木)～
CMタイプ : 「登場」篇(15秒/30秒)、「ラッキー」篇(15秒)
出演 : 竹内結子

■制作スタッフ

広告代理店	株式会社 電通
制作プロダクション	株式会社 二番工房
SCD	福岡英典
CD/プランナー	門田陽
CP	岩崎淳子
プロデューサー	宮野貴之
演出	小松真弓
撮影	ホンマタカシ
照明	崎本拓哉
美術	小林康秀
スタイリスト	宇都宮いく子
ヘア&メイク	中野明海
キャスティング	村上徹
出演	竹内結子
作詞	門田陽
作曲	藤田曜子
歌手	原田郁子



写真=TV-CM「ラッキー」篇（15秒）より



写真=TV-CM「ラッキー」篇（15秒）より